



## 子どもたちの力で素敵な学校づくり！

南帷子小学校長 竹内 久美子

4月、5・6年生で委員会が発足され、4月27日の放送による南帷っ子(みなかたっこ)朝会で、各委員長が挨拶をしました。そして、委員会の活動を通して、どんな学校にしたいかという願いを全校児童に語りました。私は、放送室で、その様子を見守っていましたが、委員長が語る「目指す学校」は、私が望む学校像と同じものでした。私は、放送後、各委員長に、「素晴らしい挨拶でしたよ。みなさんに任せておけば、素敵な南帷子小学校になりそうです。ぜひ、力を発揮してください。」と話しました。

そして、5月25日の南帷っ子朝会では、本年度の児童会スローガンが発表され、運営委員長から、このスローガンに込めた思いが語られました。

### <児童会スローガン>

**笑顔の種を育てよう**

～仲間に どんなときでも あいさつ・思いやり～



このスローガンを見ていると、わくわくしてきます。子どもたち一人一人の輝く「笑顔」が浮かんできます。「学校へ来ることが楽しい」「仲間と一緒に遊んだり勉強したりすることが楽しい」、そんな「笑顔」がいっぱい浮かびます。サブタイトルには、こうした「笑顔」があふれるために、「仲間に どんなときでも あいさつ・思いやり」を大切にしていこうと示しています。

このスローガンの素敵なのは、「笑顔」という「結果」だけでなく、「あいさつ」や「思いやり」という行動により、誰もが持っている「笑顔」の「種」をみんなで育てようとする「過程」も大切にしているところです。子どもたちの「笑顔」がいっぱいになることも嬉しいですが、仲間を「笑顔」にできる心温かい子どもたちに育ってくれることは、私の願いでもあります。

私たち教員は、仲間の「笑顔」のために活動する子どもたちを認め励まし、その行動の裏にある価値を自覚させていきたいと思えます。「あなたが～してくれたおかげで、〇〇さんの笑顔が生まれたね。ありがとう。あなたの□□な心が素敵です。」・・・と。これが、自己肯定感や自己有用感につながります。

ご家庭でも、お子さんとの会話の中で、学級の係や委員会で頑張っている話、友達に親切にしてあげた話などを聞かれましたら、その頑張りや優しさを褒めてあげてください。お子さんが、学校の仲間にとって、大切な存在になっていることを伝えてあげてください。

南帷子小学校には、これからたくさんの「笑顔」が生まれます。1つの「笑顔」の周りには、その「笑顔」をつくり出した子どもたちの「笑顔」もあふれます。

